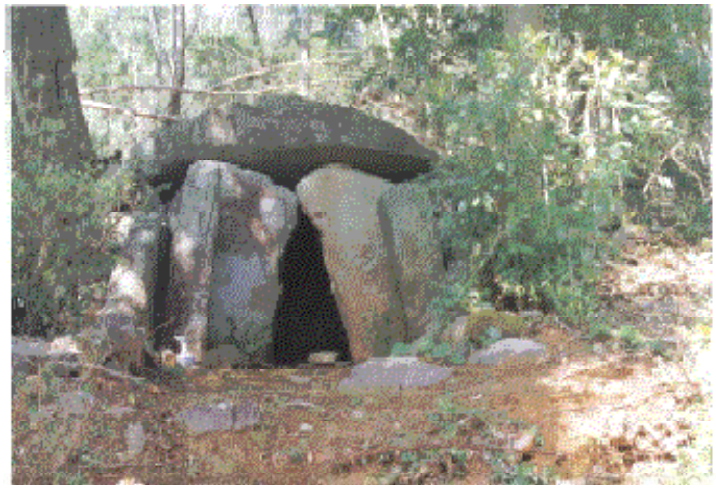
加世堂古墳

【所　在　地】出水郡東町山門野 3342
【種　　別】県指定史跡
【指定年月日】昭和 58 年４月 13 日



長島の東海岸，黒之瀬戸を南東に望む標高約 25m の小丘陵上に位置し，７世紀初頭に造られた横穴式石室をもつ帆立貝状の前方後円墳である。墳丘は長径 8.4m，短径７ m で安山岩礫で構築され，石室は奥行き約 2.5m，幅約 1.5m である。

副葬品は，盗掘によりほとんど失われ，わずかに須恵器片，鉄鏃，鉄刀片が発見されているにすぎない。

県指定史跡である阿久根市の脇本古墳とともに横穴式石室をもつ古墳の九州西海岸における南限に位置している。